

事業番号	事業名	担当課	推進協議会委員の意見	推進協議会における事務局回答	主管課意見
④	女性の活躍のための講座の開催	協働文化推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標、目標数値が第3次までは30人だが、第4次プランでは50人に上昇している。まったくできない数値を上げるのではなく、上昇していくことが大事ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会と講座では設定人数も異なるので、もう一度検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー育成講座となると小規模の講座の定員設定が少なくなるので、30人とする。</li> </ul>
⑥	就労支援講座の開催	産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの貧困は親の貧困が原因なので、そういう問題もプランの中で関わってくる。貧困の親たちが正規の職員になれるよう、また、女性活躍推進法も正職員への転換の方向を出しているので、スキルを上げて就業につなげていくところまでフォローが必要。</li> <li>・神奈川県と市町村が連携してやっていく。もう少し強く打ち出す必要がある。</li> <li>・若者サポートステーションとの共催も大事だが、これにとどめておくのではなく第3次プランでは「中高年の再就職支援、女性の就労支援、スキルアップなどのパソコン講座を開催し能力開発の機会の充実を図ります。」だったので、貧困の問題は親たちの就労支援をしっかりとしなければならぬので、もう少し別の角度や内容の付け足しが必要。</li> <li>・若者サポートステーションは厚木なので、寒川で講座を開催するような機会も必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課と調整、検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な課題ではあるが、近年の実績や近隣の藤沢市、茅ヶ崎市の状況を聞いても参加者は伸び悩んでいる。町単独で行うよりも県や他市町村と連携した就労支援を行う考えであり、案のままをしたい。</li> </ul>

事業番号	事業名	担当課	推進協議会委員の意見	推進協議会における事務局回答	主管課意見
⑩	DV等に関する相談や関係機関との連携	町民窓口課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な相談員を配置するなど積極的な支援が必要。</li> <li>・関係機関との情報交換は何をするのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課と調整、検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な相談員の配置が望ましいところではありますが、町の件数(平成26・25年度ともに9件)では、予算的にも配置は難しく、引き続き神奈川県茅ヶ崎保健福祉事務所の女性相談員と連携して、対応してまいります。</li> <li>・現在も相談者の状況により、女性相談員が町役場に来て相談にあたるなどしておりますので、今後もより一層、相談者に寄り添った支援ができるよう連携を深めてまいります。</li> <li>・2市1町人権・男女参画推進会議では、各市や警察署等の相談状況などの情報交換を行っております。</li> <li>・神奈川県茅ヶ崎保健福祉事務所の女性相談員との情報交換では、相談者が保健事務所と町役場両方に相談しているケースと、どちらか一方に相談しているケースがあり、相互に情報連携をしたおいた方がよい事項等あれば報告するなど、細かな情報交換を行っております。特に報告事項がない場合も、定期的に相談受付状況などを確認しております。</li> </ul>
⑭	健康増進事業	健康・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標、目標数値が成人健診(パパ・ママ健診)の実施回数(4回)になっているが、対象者がどれだけ健診を受けることができたか考えると、受診率などの数値のほうがいいのではないかと。実施回数というのはどういう考え方で目標数値となっているのかわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画等の指標を参考にした。担当課と調整し、検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人の健康審査は、18才～39才対象。健康づくりを意識する契機として受診してほしいものです。健康づくりを支援するため、男女共に参加(受診)できる集団検診の機会を確保し、提供するという考え方で、回数を目標にしました。また子育て中の男女(保護者)が子連れでも健診を受けやすくなるように子育て事業とタイアップした事業を計画しています。</li> </ul>
⑳	労働相談に関する情報提供	産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湘南就職面接会について、雇用情勢によって開催しない場合ありとは何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用情勢が好転した場合、面接会自体開催されない事がある。</li> </ul>	
㉓	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発	産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回となっているが、チラシ等の配布回数か。企業訪問の回数か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシの配布回数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問時にメール登録を依頼し、登録企業に対しメール配信している。</li> </ul>

事業番号	事業名	担当課	推進協議会委員の意見	推進協議会における事務局回答	主管課意見
③⑤	人権教育推進事業	教育総務課	・対象者は学校なのか。	・市民対象	
③⑧	家庭教育講座等開催事業	教育総務課	・対象者はPTAなど地域の市民か。	・市民対象	
②⑧ ③⑦	父親・母親教室の開催	健康・スポーツ課	・指標、目標値の参加者の満足度がよくわなからない。どのぐらいの対象者がいて、どれだけの人が受講しているのか数値にしていけないと、1人出て100%満足すればいいのか。数値目標も含め検討を。	・担当課と調整、検討する。	・1コース4日で年間5回開催。毎回参加者に満足度のアンケートを実施し、年間約370人分を平均しています。
	全事業について	全課	全体的に、指標・目標数値がなぜこの数値が設定されたのかわかりにくいものがある。補足説明を加えるとわかりやすくなるのではないか。説明ができるようもう一度検討。	・指標、目標については総合計画の数値や各個別計画の数値を参考にした。推進協議会の意見を踏まえ、必要に応じ各事業の担当課と調整、検討する。	